

外務省所管 平成30年度補正予算（第2号）における「個別プロジェクトにイヤマークした任意拠出金」の成果目標一覧
（主にコンセプト・ノートに基づく暫定版）

（注意事項）

- ① 現段階の成果目標は、暫定的に外務省限りで作成したため、今後、相手国政府または国際機関等からの最新の情勢等に基づいた要請により、内容に変更が生じる場合がある。
② 追加予算額は「億円」単位とし、原則としてそれぞれ小数点第2位を四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しないものがある。

イヤマーク拠出金で補正 予算措置される案件名	事業概要	実施国際機関 [追加予算額の総合 計]	成果目標 （暫定版）
東南アジア・インド地域にお ける海洋プラスチックごみ 対策促進支援	①インド、②メコン川流域（タイ、近隣 諸国）でのプラスチックごみに関する調 査、啓蒙活動等を通じた適正な廃棄物処 理システムの導入支援を行う	国連環境計画 [合計 1. 23億円]	海洋プラスチックごみの主要発生源とされ、迅速な対応が求められている東南アジア・インド地域につき 以下の支援を行う。 ①インド（ガンジス川流域およびムンバイ）にて、プラスチックごみの流出経路の特定やモニタリング手 法のモデル構築を行い、また、プラスチックごみに関する啓蒙活動を基盤にした自治体・NGO の取組強化 を支援する。 ②メコン川流域にて、プラスチックごみの排出及び河川への流出のモニタリング手法のモデルを構築する。 また、これらの実施を踏まえ、各国に対して適正な廃棄物処理システムの導入支援に向けた政策提案等を行 う。
国際平和維持活動局信託基 金拠出金（国際連合 PKO 即応 性向上事業）	PKO 参加予定の軍・警察部隊が、国連の 求める高い能力と即応性を確保するた めの国連の取組（PCRS：国連平和活動即 応能力登録制度）を支援。	国際連合平和維持活動局 [合計 0. 2億円]	国連が実施する部隊能力評価のための訪問や早期展開レベルの検証のための訪問等を支援し、PKO 参加予 定の部隊が国連の基準に沿った能力と即応性を備えていることを確保する。
大量破壊兵器への対応強化： 包括的核実験禁止条約 （CTBT）国内観測所の緊急改 修	北朝鮮の核実験を監視及び検知する包 括的核実験禁止条約機関（CTBTO）の補 助地震観測所5か所の地震計の追加設 置、観測所の改修・整備を行うもの。具 体的には、核実験の禁止を担う唯一の条 約である CTBT 上の義務に従って設置さ れた地震学的監視観測所のうち、補助地 震観測所5か所において、条約上の基準 に沿った校正（地震計のチューニング） を行うべく、CTBTO 用地震計及び小局舎 の設置、同設置に伴う工事等の費用を CTBTO に拠出する。	包括的核実験禁止条約機 関（CTBTO） [合計 0. 9億円]	5か所の地震観測施設において、包括的核実験禁止条約（CTBT）の基準に沿った校正（地震計のチューニ ング）を可能とし、国際的な核実験禁止の監視体制の強化に貢献する。
大量破壊兵器への対応強化： 化学兵器禁止機関（OPCW）拠 出金	化学兵器の使用防止や拡散防止を担う OPCW ラボラトリーの分析能力を構築し 強化すべく、新たな OPCW ラボラトリー の建設費用及び化学物質の分析に要す る精密分析計等の機材整備費用等の一 部を拠出する。	化学兵器禁止機関（OPCW） [合計 3. 0億円]	化学兵器の使用・拡散等の脅威に対処すべく OPCW ラボラトリーの施設・機材の整備を通じ、化学兵器の使 用防止や拡散防止を担う唯一の国際機関である OPCW の分析能力を強化する。

イヤマーク拠出金で補正 予算措置される案件名	事業概要	実施国際機関 [追加予算額の総合 計]	成果目標 (暫定版)
平和的利用イニシアティブ を通じた IAEA の活動支援	国際原子力機関(IAEA)の基金である「平和的利用イニシアティブ」に拠出を行い、IAEA プロジェクトの支援を行う。	国際原子力機関 (IAEA) [合計 2. 0 億円]	IAEA は途上国から食品汚染対策の支援要請を受けており、日本に対する緊急の支援要請があった。同要請に基づき、IAEA のプロジェクトを支援し、IAEA の原子力技術を活用して途上国における食品汚染に緊急に対応する能力を強化する。
日本研究中核的拠点形成支援 プログラム拠出金	欧米の有力な研究機関に日本研究中核拠点を設置し、日本に軸足を置いた外交・安全保障政策課題等の研究と、欧米の外交・政策コミュニティへ発信を行うための拠出	国際問題戦略研究所 (IISS) [合計 8. 96 億円]	国際問題戦略研究所に対し本件拠出を行うことにより、日本の国益にかなう日本の外交・安全保障研究を永続的に実施し、将来にわたって英国を始めとして欧州知識層への有益なインプット、知日派知識人の育成、日本の視点を踏まえた世論形成等を行う。
		ハドソン研究所 [合計 5. 6 億円]	トランプ政権及び共和党に近いハドソン研究所に本件拠出を行い、同研究所内にジャパンチェアを設置することにより、日米関係、特に安保分野での協力強化に資する対外発信を行い、対日理解の深化及び知日派の育成を図るとともに、政策形成に対する影響力を強化する。
国際連合教育科学文化機関 (UNESCO) 拠出金	西アフリカ地域における深刻な洪水被害を受けての早期警報システム導入等緊急支援	国際連合教育科学文化機関 (UNESCO) [合計 1. 9 億円]	ニジェール川、ヴォルタ川等の流域で深刻な洪水被害にさらされる西アフリカ地域のベナン、ブルキナファソ、カメルーン、チャド、コートジボワール、ガーナ、ギニア、マリ、ニジェール、ナイジェリア、トーゴ等に対して緊急支援を行うことで、ユネスコの防災のための取組に貢献することを目的とする。具体的には、右の目的を達成するため必要となる早期警報システム導入やキャパシティビルディングに係る経費を拠出する。